



暫定版

※記載されている時間・内容等
は今後変更する可能性がござ
います。ご了承ください。

日時：平成 26年 11月 26日（水）
12時開場－18時45分閉場

会場：郡山ビューホテルアネックス
3F 雲水峰、麓山、華
(福島県郡山市中町10-10)

会場全体図

【ご注意事項・ご案内】

- ※ ご来場時は「総合受付」にお越しください。
- ※ 貴重品管理は各自でお願いします。
- ※ クロークをご利用いただけます。
- ※ 冷水はセルフサービスでご利用いただけます。
- ※ 喫煙スペースは屋外と13階にございます。
- ※ ゴミはお持ち帰りください。
- ※ 当交流会はマスクオーブンとなります。予めご了承ください

「新しい東北」×「〇〇」
キャンペーン

設置しているパネルと一緒に写真撮影してSNSでぜひ共有してください！

A会場（雲水峰）

メインステージ

- ・挨拶
- ・復興ビジネスコンテスト表彰式(p9-10)
- ・パネルディスカッション(p4)
- ・プレゼンテーションコーナー(p3)

ワーク ショップ(p8)

総合受付

出入口

出入口

資料配布コーナー

出入口

ブース出展(p5-7)

- ・農林水産、食品加工
- ・観光、ものづくり
- ・子ども、高齢者、コミュニティ
- ・エネルギー、まちづくり、防災
- ・各種支援事業

復興庁/事務局
ブース

出入口

パネル展示コーナー

ブース出展(p7)

- ・復興ビジネスコンテスト受賞団体

C会場（華）

B会場（麓山）

①映像コーナー

会員様の取組紹介の映像を上映します。

②マッチングボード

ボードと付箋を設置します。
掲示板としてお使いください。

復興ビジネスコンテスト関連企画

- ・A会場メインステージで受賞団体の表彰式を行います。
- ・C会場で、受賞団体のブース出展、第一次審査を通過した団体のパネル展示を行います。

スタンプラリー

★印の付いているブース（p5-7、調整中）を見に行ってスタンプを集めましょう！全て集めた方には賞品をご用意しています。（引換は総合受付にて承ります）

クローケ

休憩
スペース

お手洗い



ミニプレゼン
テーション(p8)

ブースコンテスト

一番良かったと思うブースに投票をお願いします！アンケート用紙に回答欄を設けております。後日HP上で結果を発表予定です。

当日の名刺ケースの色

- ・一般参加者：白
- ・ブース/プレゼン/パネル出展団体：青
- ・パネルディスカッション登壇者：緑
- ・マスコミ関係者：黄
- ・スタッフ：赤

ブース
出展

プレゼンテーション

A会場



B会場

C会場

時間	A-1	A-2
12:30-12:40	ミュージックセキュリティーズ ミュージックセキュリティーズ	震災復興へのD-B-Jの取り組み～地域企業の価値向上に向けて～ 株式会社日本政策投資銀行 震災復興ファンド等による資金ニーズへの対応。地域資源を活用した観光と食のコラボレーション創出や日本酒の消費拡大に向けた仕掛けなど支援先企業の価値向上への取り組み等、D-B-Jの創造的復興に向けた取組をご紹介します。
12:45-12:55	福島から地域の課題を解決する事業と人材を創出する「ふくしま復興塾」の取り組み 福島大学うつくしまらくしま未来支援センター 福島の若者育成プロジェクトである「ふくしま復興塾」第2期活動開講中である。約半年間のプログラムで、若生はふくしまの課題を解決する事業を立案します。今回は、発生の中から立案された福島に「つながる」弁当についても紹介します。	特定非営利活動法人 ETIC. 特定非営利活動法人 ETIC.
13:00-13:10	独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部 中小企業震災復興・原子力災害対策経営支援センター福島 独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 独立行政法人中小企業基盤整備機構で実施している、震災復興支援アドバイザー制度のご紹介です。この制度は、東日本大震災において被災された中小企業へ、経営に関するアドバイザーを派遣し直接各行うものです。	大和リース株式会社 大和リース株式会社
13:15-13:25	JST復興促進センターにおける産学官連携の取り組みと成果 ㈳国際科学技術振興機構 JST復興促進センター 復興促進プログラムを活用した被災地企業と学との共同研究への支援に関し、その取り組みと成果についてご紹介いたします。	
13:30-13:40	東日本大震災被災3県におけるRCFの取り組み紹介 一般社団法人RCF復興支援チーム RCF復興支援チームによる「コーディネート」を通じた被災地への取り組みを具体的な事例を使って紹介。市民団体による生活再建、事業者・自治体に対する般般住宅支援・コミュニティ支援・水産加工業支援・人財マッチング支援等。	
13:45-13:55	JRT都市機構の復興支援の取り組み JRT都市機構 JRTが取り組む福島市街地整備事業と震災公営住宅整備事業の現状をお伝えするとともに、震災公営住宅における高齢者・コミュニティ支援、中心市街地のビルドアップ支援、産業誘致の取組み等についてご紹介いたします。	
14:00-14:10	道路構造画像アーカイブ利用による防災・復興支援 インクリメントJ株式会社 デジタル地図制作にあたり、全国の道路を走行調査、震災以前の全ての道路構造画像を撮影しています。東北地方で失われた道路の復旧を次世代に伝えるためのデジタルアーカイブ、震災復興、防災教育、防災対策等へ活用に関する企画のご提案をいたします。	
14:15-14:25	施設の安全対策と地域木材活用による産業振興 株式会社イトーキ オフィス家具メーカーとして、東日本大震災の経験を踏まえて、施設の安全対策と福島県内の木村在家具・内装材に活用することで産業活性化を図る取り組みの紹介。	
14:30-14:40	民謡主導型オンラインバスによる高齢者移動自立支援事業プロジェクト コガリフトウェア株式会社（孝行コンリーシアム） 福島県いわき市で「孝行サービス」コンリーシアムがオンラインバスの実証運行を実施しています。商店街やスーパー等の店舗経営者が地域活性化のために事業の中心となり、民間主導で提供される「相談・おいで・送迎サービス」の役組みについてご紹介します。	

パネルディスカッション

A会場 16:15-17:15

官民連携による地域課題の解決 vol.2

今回は、被災地外において、地域課題の解決に向けて官民連携の体制づくりを推進している自治体の方々にお越しいただき、先進的な動きや今後の展望について御議論いただきます。

ファシリテーター

青柳 光昌 氏（日本財団ソーシャルイノベーション推進チーム チームリーダー）

パネリスト

【横浜市 LOCAL GOOD YOKOHAMA】

関口 昌幸 氏（横浜市政策局政策部政策課）

杉浦 裕樹 氏（NPO法人 横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事）

【文京区 文京ソーシャルイノベーション・プラットフォーム】

境野 詩峰 氏（文京区区民部協働推進担当課長）

広石 拓司 氏（株式会社 エンパブリック代表取締役）

【福島大学うつくしまふくしま未来支援センター】

天野 和彦 氏（福島大学特任准教授）

A会場 17:30-18:30

子どもの健やかな育ちと若者的人材育成

復興庁先導モデル事業等の中から、子供の健やかな育ちと人材育成を目指して取り組む方々にパネリストとしてお越しいただき、官民連携の必要性、推進策、今後の課題・展望について御議論いただきます。

ファシリテーター

中鉢 博之 氏（ふくしま連携復興センター理事）

パネリスト

菊池 信太郎 氏（郡山ペップ子育てネットワーク理事長）

米倉 正子 氏（NPO法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク事務局）

石井 賢一 氏（富岡町教育委員会教育長）

三浦 浩喜 氏（OECD東北スクール統括責任者、福島大学理事・副学長）

山内 幸治 氏（NPO法人 ETIC.理事・事業統括ディレクター）

ブース出展

A会場

★印の団体は現時点でのスタンプラリー参加予定団体です。

出入口

C-01 C-02 C-03 C-04



ビジネスコンテスト
受賞団体

C-05 C-06 C-07 C-08 C-09



B会場 C会場

出入口

B-01 B-02 B-03 B-04 B-05 B-06



産業・生業

B-07 B-08 B-09 B-10 B-11 B-12



子ども・高齢者・コミュニティ

B-31



B-30



B-29

B-28



各種支援事業

B-23 B-24

B-25 B-26

B-27 B-28



B-13

B-14

B-15

B-16

B-17

B-18

エネルギー・まちづくり・防災

新企画・ブースコンテスト

概要

来場者の皆様に、下記基準に該当するブースを投票していただきます。（投票用紙は来場者アンケート中に組み込まれています。）

- (1) 取組内容に関心を持ったブース
- (2) 取組のPRが上手いブース

上位入賞者には、

○協議会ウェブサイトで特集記事を掲載
入賞団体の取組内容や効果的なブース出展方法のポイント等を掲載予定です。
等の特典により応援させていただきます。

産業・生業

B-01 都山ブランド野菜協議会

都山ブランド野菜協議会

都山ブランド野菜の収穫の中から冬野菜5種類の展示や試食を行います。また、都が誇るたと野菜について、映像の上映によるプレゼンテーションを行います。

B-02 都山市

こおりやまの農産物・特産品

先人たちの努力により実現した空き駅舎。その活用を掛け、都山市には独自性の特産品がたくさんあります。都山市は大歓び育った都山市自慢の農産物や特産品をご紹介いたします。



B-03 デジタルブックプリント株式会社

B-04 アクセンチュア株式会社

クレジットカード決済認定！会津地域の振興名産品の販売

モバイル端末を使ったカード決済システムの導入促進により、会津地域の経済活性化を目指しています。ブースでは、推進した会津の名産品をご用意しています。もちろん支払いはカード決済のみ。当日はぜひクレジットカードのご用意を！

B-07 東京藝術大学社会連携センター 風景と心の移動および地図プロジェクトコンソーシアム

風景と心の移景および創景事業~共時空体験的なるさと再生と創造

当事業は東北の失われた風景を多くの断片的な記憶からアーカイブ化し、また芸術表現作品として再生して、新しい風景となるさとの創造にピントと貢献を提供することを目的として、風景の収集・修景・創景の3つの事業に取組んでいます。

B-05 湯原町商工会

湯原町商工会



B-06 スメーフジャパン

地域住民が主体となり、田村市海援隊特有のあぶくま海峡の地域資源を、持続可能な観光資源として保全・利活用する観光施設型のツアーや構築することで、地域に愛着が湧き何度も足を運んでもらえるような新たな観光のモデルを創設・発信する。

子ども・高齢者・コミュニティ

B-08 NPO法人 郡山ベップ子育てネットワーク

NPO法人 郡山ベップ子育てネットワーク

子どもの健やかな育ちに必要な運動遊びを実践する遊び場の運営と、子どもの遊びをリードするフレイリーダーの養成

B-09 東電パートナーズ株式会社

東電パートナーズ株式会社

B-10 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

「だれもが地域で普通に」暮らし続けることのできる地域社会の実現をめざして

地域住民や被災地の支援者などを対象に、研修会やイベントの開催、講演・研究、出版などを行うNPO法人です。高齢化や過疎化など、全国共通の課題を、10年早いに迎えたと言われる被災地から、交え合いのある住民主体の地域社会づくりを発信します。

B-11 日本国際障がい者スポーツ協会/豊崎あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

健やかな子どもの成長を育む地域の遊び場づくり

平成25年度から、（一社）日本国際障がい者スポーツ協会とNPO豊崎あそび場-せんだい・みやぎネットワークが協同で実施している「健やかな子どもの成長を育む地域の遊び場づくり事業」について、これまでの経緯をご報告させていただきます。

B-12 まちづくりNPO新町なみえ

こどもまちづくり会議（にはんまつ-なみえ）



今後の復興を担う原発事故地と受入自治体の子どもを対象に、子どもまちづくり会議（まちづくり体験会）を開催する。子ども達の居場所を作り、全国にバラバラに暮らしている子どもたちと情報ネットワークで繋がることで広域の防災コミュニティの構築を行う。

エネルギー・まちづくり・防災

B-13 株式会社イトーキ



株式会社イトーキ

オフィス、公共空間等の安全対策をお手伝い致します。また、福島県内の木材を活用した施設づくりのお手伝いを致します。

B-14 NPO法人 美しい街住まい俱楽部

いわき市豊岡地区：600戸のコミュニティと産業の再生

産業の再生や住民の参加と協働の力で推進するため、プラットフォーム構築、仮設店舗での特産品づくり、災害公館住宅での実証実験を行い、コミュニティ再生と地域づくりの合意形成を図る。

B-15 「生きる力」市民運動化プロジェクト SENDAI CAMP 実行委員会

被災訓練プログラム SENDAI CAMP ~あなたの「生きる力」を高めよう!~

被災体験というよりも実践的な形で模擬体験する「被災体験プログラム」を開催中。9/27(土) 14:00～9/28(日) 8:00頃の約1泊2日程、実際に仙台市の街なかの公園でテント泊を実施した模様を紹介します。

B-16 いのちと地域を守る津波防災アクション「カケアガレ！日本」

B-17 地域防災モデルシステムによる頑健で活力ある街づくり

地域に根ざしたICTサービス活用による頑健で活力ある街づくり

今年度から開始した本事業では、宮城県角田市・岩手県高舘市と、災害時および平常時ににおけるICTサービス活用の考え方について議論してきました。本日は、これまでの議論の内容と、災害時の情報発信・共有を支える試作中のICTサービスをご紹介します。

B-18 株式会社NTT東日本-東北

きずな支援ねっと

東日本大震災の被災者や支援者の皆様の経験を元に、「きずな支援ねっと」を開発しました。アタッシュケース一つで簡単に、素早く避難所の状況把握・情報共有が可能になり、どこでも避難所を開設・運営出来ます。

新企画・スタンプラリー

- ✓ スタンプラリー参加団体の各ブースに設置されているシールを集めて台紙に貼って下さい。
- ✓ 全部集めた方にはもれなく出展者からご提供いただいた賞品をプレゼント！

各種支援事業

B-19 一般社団法人RCF復興支援チーム	B-20 一般社団法人ふくしま連携復興センター	B-21 インクリメントP株式会社 NTT空間情報株式会社／グローバルサービスハイテク
一般社団法人RCF復興支援チーム～どんなひとも地場も、価値をつくりあう社会～ RCF復興支援チームによる「コーディネート」を通じた被災3県への取組みを紹介。官民連携による生活再建、事業者・自治体に対する仮設住宅支援。コミュニティ支援・水産加工業支援・人材マッチング支援等。	一般社団法人ふくしま連携復興センター／ふくしま復興応援隊 ふくしま連携復興センターは、復興支援で活躍する多くのNPO等で構成されるネットワーク団体です。行政や企業、大学などの協働推進、情報発信、政策提言を行っています。復興県との協働事業である「ふくしま復興応援隊」の取組みについて紹介致します。	デジタル地図制作にあたり全国の道路を走行調査、震災以前の全ての道路写真撮影を行っています。失われた風景を次世代に伝えるために活用提案をいたします。また、災害復旧に寄与する不動産会社の「地図」が分かる「地図地図」のご紹介をいたします。
B-22 日本百貨店協会	B-23 国立大学法人福島大学うつくしまふくしま未来支援センター	B-24 大和リース株式会社
百貨店バイヤーが選ぶ「東北発！百貨店並販ブランド」 東北の百貨店（10社）選定バイヤーが、東北商品の魅力を再発見し、さらなる魅力を引き出すために、「東北発！百貨店並販ブランド」としてカタログ化。カタログ内容の紹介と、百貨店OBによるアドバイス事業について紹介。	国立大学法人福島大学 東日本大震災及び東京電力福島第一原発事故災害からの復旧・復興に向けて取り組んでいる、子ども・若者支援、まちづくりや農業再生等の地域復興支援、農・林機械復興支援など、センターが実施している各種の支援活動等を紹介します。	大和リース㈱の官房連携における復興支援事業 ・大和リース㈱の震災復興への取組と、今後の官民連携事業への取組について ・大和リース㈱の事業紹介 ・パンフレット等
B-25 UR都市機構	B-26 株式会社日本政策投資銀行	B-27 独立行政法人中小企業基盤整備機構 北本部
UR都市機構の復興まちづくり支援について、進捗状況及び被災市町村別にまとめたパネルを展示します。	株式会社日本政策投資銀行（DBJ）の業務ご紹介 震災復興への取り組みや世界初のBCM枠内融資を通じたファイナンス省からの企業の防災力強化支援など、DBJの業務についてご紹介します。	独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部 中小企業復興・電子化災害対策経営支援センター福島 独立行政法人中小企業基盤整備機構で実施している、震災復興支援アドバイザー制度のご案内です。この制度は、東日本大震災において被災された中小企業へ、経営に関するアドバイザーを派遣し支援を行うものです。
B-28 財務省 東北財務局 福島財務事務所	B-29 一般社団法人 日本生産技能労務協会	B-30 (独)科学技術振興機構 JST復興連携センター
財務省 東北財務局 福島財務事務所 福島財務事務所は財務省の総合出先機関です。金融厅からも横断を委託を受けており、中小企業等に対する金融円滑化対策、資金調達に役立つ会計制度の知識など財務省や金融厅の各種施策を皆様にお伝えします。	被災地域活性化、コミュニティ形成維持支援及びに産業人材育成事業 被災地域における活気・並びにコミュニティ形成維持支援を通じ、地域産業人材育成への協力	(独)科学技術振興機構 JST復興促進センター 復興促進プログラムを活用した被災地企業と学との共同研究への支援に関し、その概要と成果についてご紹介いたします。
B-31 福島県		

ビジネスコンテスト受賞団体

C-01 ヤグチ電子工業株式会社	C-02 株式会社幸呼来Japan	C-03 梅村マルティナ茨城FSアトリエ 会社
		東京で集客こと頭ざされた茨城県市原町大沢地区に会社を設立。この地から届けられる毛糸とニット製品を通して、全国のみなさんと「編み物の楽しさ」、「毛糸にられるしあわせ」を共有するプロジェクトを推進しています。
C-04 桃浦かき生産者合同会社	C-05 南三陸復興ダコの会	C-06 企業組合八幡平地熱活用プロジェクト
		日本で初めて地熱発電所が稼働を開始した八幡平市において『馬鹿地いわて』の文化の復興、復活を目指し、地熱を活用する事で、馬由来の資源、馬の堆肥を馬糞加熱化し、その特性である臭わず軽いという特性を活かし、都市と地方をつなぐつなぐプロジェクト
C-07 自然食品ばんだい	C-08 桑津商店	C-09 株式会社磐城高善
自然食品ばんだい 「アリアリモチモチ」鮭の旨みがまらない！世界中の子供達に笑顔来たる！喜多方もっちり鮭子は”めざせ食の日本代表”第二回地場ちん国民大賞審査員賞を受賞。フード・アクション・ニッポンアワード2年連続入賞を受賞しました。	桑津商店 林業衰退に、更に良沼善しい畜産製造で歴止めをかけよう！	純いわき産豚割肉磐城高善

その他出展

A会場

ワーク
ショップ

ミニ
プレゼン

B会場

C会場

ミニプレゼン

希望される方は当日総合受付までお申し込み下さい。

番号	時間	番号	時間
①	12:30-12:40	⑩	16:15-16:25
②	12:45-12:55	⑪	16:30-16:40
③	13:00-13:10	⑫	16:45-16:55
④	13:15-13:25	⑬	17:00-17:10
⑤	13:30-13:40	⑭	17:15-17:25
⑥	13:45-13:55	⑮	17:30-17:40
⑦	14:00-14:10	⑯	17:45-17:55
⑧	14:15-14:25	⑰	18:00-18:10
⑨	14:30-14:40	⑱	18:15-18:25

ワークショップ

被災地で復興支援活動をされている方の下に若手人材を派遣する「右腕派遣プログラム」を実施されている、NPO法人IETICによる約30分のワークショップを開催予定です。

- ✓ 時間：13:30-14:00
- ✓ 会場：A会場



※写真はイメージです。IETICホームページより)

パネル展示団体（五十音順）

B会場

- 一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター

C会場（ビジネスコンテスト 二次審査参加者）

- 小野寺商店
- 株式会社東部環境
- 農業生産法人株式会社高森農園
- スマープジャパン
- SSS合同会社
- 大和リース株式会社
- 株式会社乃村工藝社

ビジネスコンテスト表彰式

会場：A会場内メインステージ（15:00-16:00）

時間	内容
15:00-	大臣・福島県知事挨拶（代読の可能性あり）
15:10-	表彰状授与、大賞受賞者コメント、写真撮影

コンテスト概要

被災地の産業復興に向けた地域産業の創出の機運醸成を図ることを目的に、地域産業の復興や地域振興に資する事業（又は事業計画）を募集

募集分野

- 水産業（加工業を含む）
- 農林畜産業（加工業を含む）
- 製造業（食品加工業を除く）
- 商業・観光・サービス業等
- その他（エネルギー、ソーシャルビジネス等）

審査プロセス

第一次審査
(書類審査)

応募総数：133件

第二次審査
(プレゼンテーション審査)
参加者数：48件

表彰式

大賞：1件
優秀賞：6件
奨励賞：3件

※アイリスオーヤマ(株)より、受賞団体の中からアイリスオーヤマ賞が贈られます。

審査体制

- 池田 安弘 （いけだ経営デザイン研究所 代表）
黒澤 賢治 （特定非営利活動法人 アグリネット 理事長）
篠崎 宏 （株式会社JTB総合研究所 コンサルティング第1部長）
土肥 健夫 （株式会社事業開発推進機構 代表取締役）
中込 進 （株式会社アットソリューションズ 会長）
永沢 映 （特定非営利活動法人 コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事）
野村 秀之 （株式会社博報堂DYホールディングス イノベーション創発センターイノベーション推進グループ グループマネージャー）
平野 哲行 （株式会社平野デザイン設計 代表取締役社長）
本田 勝之助 （本田屋本店有限会社 四代目 代表取締役）
松尾 省二 （株式会社エンジョイ・フィッシャーマン 代表取締役）
政所 利子 （株式会社玄 代表取締役）
山田 さとみ （一般社団法人あおもりコミュニティビジネスサポートセンター 理事）

※ このほか、独立行政法人科学技術振興機構 JST 復興促進センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構、金融機関等が審査に参加しました。

受賞団体紹介



株式会社磐城高箸（福島県いわき市）

『林業と地域を再生させる、
間伐材を使用した高級割り箸』

【事業概要】

いわき産杉間伐材を活用し、デザイン性のある高級割り箸や派生商品を一貫製造・販売する事業を展開

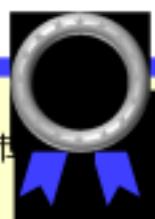


みらいの食研究所

岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市

『までーに ブランド
開発プロジェクト』

地域の第一次産品を活用したスープ等の新商品の開発と新市場開拓に取り組み、地域の食産業の付加価値創出を目指す



桃浦かき生産者合同会社

（宮城県石巻市）

『超高压機による力キ剥きの
機械化と商品開発』



超高压機により力キ剥きを機械化し、力キを使った高付加価値・高価格の新商品を開発



島津麹店

（宮城県石巻市）

『価値ある健康サポート、
天然発酵甘糀飲料「華糀」』

江戸時代から続く石巻地域の麹文化を継承し、高温で殺菌する甘酒とは全く異なる、天然発酵甘糀飲料を商品化



ヤグチ電子工業

radiation-Watch.org（宮城県石巻市）

『安価・高精度・軽量な放射線
測定器「ポケットガイガー」』

震災を期にスマートフォン接続型線量計の開発に着手。大手メーカーの製品の量販で培った技術を活用し短期間で商品化



海村マルティナ気仙沼FSアトリエ
株式会社（宮城県気仙沼市）

『仙沼発！毛糸＆ニットによる、全国のみなさんとのしあわせ共有プロジェクト』
インターネット通販により、毛糸とニットを気仙沼から全国に販売。編み物教室を開催し、住民との交流も深めている



『企業組合八幡平地熱活用
プロジェクト（岩手県八幡平市）』

『馬産地いわての復活と馬由来資源で
都市と地域をうまく繋ぐプロジェクト』
地熱を活用した馬ふん堆肥の安定発酵、高品質化と安定供給を実施。馬ふん堆肥を活用して、マッシュルームを栽培



株式会社幸呼來
Japan（岩手県盛岡市）
『伝統工芸「裂き織」で
環境にも障がい者にも優しい
「リユース」商品開発』



南三陸復興ダコの会
（宮城県南三陸町）
『オクトパス君
プロジェクト』



自然食品ばんだい
（福島県喜多方市）
『子供達に笑顔・
観光客に思い出を作る
喜多方もっちり餃子』

事務局からのお知らせ

■ 協議会の上手な使い方

Step 1：交流会で声をかける

まずは名刺交換から。関心事項や問題意識を共有している人と出会ったら、積極的に意見交換も！

会いたい人に会うために
マッチングボードを使ってみてください！

Step 2：直接相談をしてみる

先方の連絡先がわからなくても、協議会ウェブサイトの会員専用サービスに御登録いただいている場合は、「メール機能」を活用し、連絡をお取りいただくことができます！

交流会の場では、スタンプラリー等の機会を利用して積極的にブース訪問し、ゆっくり話したくなったら、ロビーの休憩スペースをご活用下さい！

Step 3：取組を発展させる

「プロジェクトのイメージが具体化してきた」「より多くの団体と一緒にイベントを開催したい！」…そんなときには会員専用サービスが便利です。会員専用サービスを利用し、プロジェクトやイベントの相談・情報発信を行うことで、他の団体に興味を持っていただくことができます。

交流会後の連絡、連携相手の募集には会員専用サービス、協議会ウェブサイトをご活用下さい！

《連携実績例》

➤ 取引先の開拓につながりました！

会員交流会（3/16@仙台）でブースを出展し、多数の参加者と交流。後日、催事販売の打診があり、大手小売店舗にてフェアを開催。また、会員交流会（9/29@盛岡）でもブースを出展し、多数の参加者と交流。他企業のWebサイトにおける商品の販売支援が決定。また、ある企業では、グループ企業での販売を検討。

➤ 事業者と支援制度とのマッチングにつながりました！

会員交流会（9/29@盛岡）でブースを出展。宮古の水産関係団体による新たな事業展開についてアドバイスを行うため、後日、復興支援アドバイザーを派遣。また、金融機関と、中小企業支援に向けた連携について検討開始。

【お問い合わせ】

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局

みずほ総合研究所株式会社 社会・公共アドバイザリー部

E-Mail : nt-info@mizuho-ri.co.jp

TEL : 03-3591-8773 (平日9時30分-17時30分)

URL : <http://www.newtohoku.org/>